



圧倒的な信頼と性能を誇る 企業向けクラウド基盤

IBM LinuxONE の新エントリー・モデル登場

サイバー脅威から企業を守る
全方位型暗号化

クラウド・ネイティブの価値を
最大化するクラウド基盤

さまざまな顧客ニーズを満たす
圧倒的なパフォーマンス



IBM LinuxONE
Rockhopper II

最新の情報はこちらの Web ページをご覧ください

ibm.biz/linuxone_jp

デジタル変革はあらゆる業界のビジネスや消費者の生活スタイルにも大きな影響を与えています。顧客に提供されるデジタル体験は、今やデータによって生み出され、クラウドを通じて顧客に提供されています。そこで重要となってくるのが“信頼”です。信頼できるサービスなのか、信頼して自分のデータを預けても良いのか。デジタル時代だからこそ、改めて信頼が求められています。このようなデジタル時代に、企業は重要なデータを保護し、より高いニーズに応え、顧客体験に価値を付加するサービスを創出する必要があります。

IBM LinuxONE は、圧倒的な信頼と性能を誇るビジネスのためのクラウド基盤です。新たなエントリー・モデルである Rockhopper II は、あらゆる規模のビジネスにおいて使いやすくセキュアな IT 基盤でクラウド・サービスをサポートします。

サイバー脅威から企業を守る全方位型暗号化

Rockhopper II のセキュリティー機能は、高速のハードウェア暗号化によって、アプリケーション変更やパフォーマンスへの影響なく、ディスク上あるいは通信される全てのデータを暗号化します。さらにハードウェアによる暗号鍵の保護、EAL 5+ 認証クラス(*)の論理区画分離による高度なセキュリティー保護を行っています。また IBM セキュア・サービス・コンテナは専用の区画上に提供され、Linux 上でのセキュアなランタイム環境を実現します。マルウェアの侵入を完全に防止すると共に、特権を持つユーザーによるコンテナへのアクセスをさえぎさないため、不正による情報漏えいや誤用を防止します。LinuxONE はこのような強固なセキュリティー機能を提供する最も安全な Linux プラットフォームです。

(*) EAL 5+: 情報セキュリティー評価基準の国際標準 (モコンクライテリア) における評価基準レベル

クラウド・ネイティブの価値を最大化するクラウド基盤

IBM LinuxONE はクラウドやアナリティクスに重要なオープンソースを中心とした IT 基盤であり、クラウド・ネイティブなコンピューティング環境を利用できます。クラウドの柔軟な基盤の能力を發揮するためには、従来の個別最適化されたアプリケーションの開発スタイルとは異なり、オープンテクノロジーをベースに DevOps を実践するとともに、クラウド環境用のコンテナ型アプリケーション・アーキテクチャーによる開発が必要になります。IBM Cloud Private(ICP) は Docker によるコンテナ技術を用いたクラウド・ネイティブ・アプリケーションの統合開発プラットフォームです。Rockhopper II のセキュアなプライベート・クラウドで IBM Cloud Private を利用すると、アプリケーションやデータを安全に管理しながらクラウド・アプリケーションを開発することができます。

さまざまな顧客ニーズを満たす圧倒的なパフォーマンス

IBM LinuxONE は卓越した可用性、信頼性、セキュリティーを兼ね備えたコンピューティング環境を提供し、大量データ処理や多様に混合したワークロードにおける優れたパフォーマンスを發揮します。このため 1 台の LinuxONE 上の仮想環境に多数の分散サーバーを集約することや、大規模なデータを集中管理し、大量のトランザクションを高速に処理することもできます。高いサービス品質と経済性に優れた統合システムを実現し、データを駆使した迅速な意思決定や新たな顧客サービスの実現をサポートします。



どのデータセンターにも最適な省スペースと使いやすさを実現

業界標準 19 インチラックを採用し省設置スペースを実現しており、さらに 16U の空きスペースへ、管理コンソール、スイッチ、ストレージ装置などを内蔵できます。電源は一般商用の単相 200V を使用できます。セキュアでパワフルな新しい Linux システムを 1 台の“シングルフレーム”で容易に導入し迅速にサービスを開始することができます。

IBM LinuxONE Rockhopper II

ユーザー指定可能な PU 総数	30	
最大メモリー	8 TB	
最大 FICON/OSA ポート数 *1	128/96	
本体寸法	機械下部で結線 (通常)	幅 60 × 奥行 107 × 高さ 201.5 cm
	機械上部で結線	幅 62.4 × 奥行 120.4 × 高さ 212.8 cm
最大重量	740 kg	
入力電源	単相 200 – 240 VAC	
ソフトウェア・サポート *2 *3	SLES 11 SP4, SLES12 SP2, RHEL 6.9, RHEL 7.3, Ubuntu 16.04 LTS 以降のリリース、z/VM 6.4 以降のリリース、KVM *4	
エネルギー消費効率 *5	186 W/GTOPS (2011 年基準区分 B)	

*1 ポート数は、構成によって最大数まで搭載できない場合があります。

*2 ソフトウェアのバージョン・リリース・レベルによってサポートされる機能が異なる場合があります。

*3 Linux の推奨ディストリビューション・レベルや最新情報は、www.ibm.com/systems/z/os/linux/resources/testedplatforms.html をご覧ください。

*4 KVM は、SLES 12 SP2 および Ubuntu 16.04 LTS で提供されるものをサポート予定です。

*5 「エネルギー消費効率」とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律 (昭和 54 年法律 49 号。以下「省エネルギー法」という) で定める測定方法により測定した消費電力を省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。

このカタログは、2018 年 4 月当時の情報を基に作成しており、予告なく変更することがあります。数値で示す効果や改善は IBM 社内の測定実績であり、実際の環境によって変化します。製品・サービスの詳細は、弊社または IBM ビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103 - 8510
東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号
© Copyright IBM Corporation 2018
All Rights Reserved, 04-18 Printed in Japan

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM LinuxONE は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の名称は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。IBM の商標は、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。Java およびすべての Java 関連の商標は、Oracle やその関連会社の商標または登録商標です。Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。